



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場会社名 日野自動車株式会社
 コード番号 7205 URL <http://www.hino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部 広報渉外室長
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・アナリスト向け)

上場取引所 東 名

TEL 042-586-5494

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	918,545	37.9	23,363	—	19,186	—	7,930	—
22年3月期第3四半期	666,133	△24.5	△18,792	—	△22,694	—	△28,904	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	13.90	13.90
22年3月期第3四半期	△50.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	737,469	231,650	28.3	366.66
22年3月期	777,809	227,717	26.8	364.88

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 208,958百万円 22年3月期 208,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年3月期	—	2.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,260,000	23.1	30,000	—	25,000	—	9,000	—	15.78

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 574,580,850株 22年3月期 574,580,850株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 4,676,033株 22年3月期 3,384,307株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 570,478,820株 22年3月期3Q 571,727,163株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成22年10月28日に公表いたしました通期の業績予想を本資料において修正しております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. その他の情報	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
4. 補足情報	P. 7
(1) 生産実績	P. 7
(2) 売上実績	P. 7

※ 当社は、以下のとおりマスコミ・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料等については、この決算短信開示後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成23年1月31日・・・・・・マスコミ・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(9か月)における国内普通トラック(大型・中型トラック)市場につきましては、エコカー減税・補助金政策により、総需要は37千台と前年同四半期に比べ8千台(27.9%)増加、小型トラック市場におきましても、総需要は40千台と前年同四半期に比べ5千台(15.4%)増加いたしました。

国内売上台数につきましては、需要増加によりトラック・バス総合計で20千台と前年同四半期に比べ3千台(15.1%)増加いたしました。

海外市場につきましては、アジア・中南米等の新興国市場の成長を背景に、トラック・バスの売上台数は59千台と前年同四半期に比べ20千台(52.1%)増加いたしました。

以上により、日野ブランド事業のトラック・バスの総売上台数は79千台となり、前年同四半期に比べ23千台(40.5%)増加いたしました。

トヨタ自動車株式会社からの受託生産車につきましては、海外向けを中心とした「ランドクルーザープラド」の生産が増加した結果、総生産台数は123千台と前年同四半期に比べ48千台(63.5%)増加いたしました。

以上により、売上高は918,545百万円と前年同四半期に比べ252,411百万円(37.9%)の増収となりました。また、損益面におきましては、売上高が増加したことにより営業利益は23,363百万円、経常利益は19,186百万円、四半期純利益は7,930百万円となり、いずれも前年同四半期に比べ増益となり、赤字から黒字に転換することができました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前年度末に比べ40,340百万円減少し、737,469百万円となりました。これは、国内トラック・バスの売上台数が前年度末に比べ少ないため売掛債権が17,162百万円減少したこと及び有形固定資産が21,291百万円減少したことによります。

負債につきましては、前年度末に比べ44,274百万円減少し、505,818百万円となりました。これは、受託生産車の生産台数が前年度末に比べ少ないため買掛債務が9,544百万円減少したこと及び有利子負債が33,784百万円減少したことによります。

純資産につきましては、前年度末に比べ3,933百万円増加し、231,650百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が3,962百万円減少したものの、四半期純利益7,930百万円を計上したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

海外市場での当社製品のトラック・バスの販売動向ならびにトヨタ自動車株式会社からの受託事業などの経営環境の変化を踏まえ、通期の連結業績予想を次のとおり修正しております。

売上高	1兆2,600億円
営業利益	300億円
国内トラック・バス売上台数	29.4千台
海外トラック・バス売上台数	81.9千台
トヨタ受託車生産台数	167.6千台

なお、通期の個別業績予想については修正しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性に関しては、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、前連結会計年度末からの重要な一時差異の変動を加味したものを使用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益は1,103百万円減少しております。なお、営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であります。

② 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取り扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取り扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,441	30,659
受取手形及び売掛金	185,681	202,844
商品及び製品	58,891	50,131
仕掛品	23,052	18,571
原材料及び貯蔵品	23,738	23,758
その他	31,709	33,197
貸倒引当金	△3,008	△3,224
流動資産合計	344,505	355,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	90,161	94,823
機械装置及び運搬具(純額)	80,151	90,771
土地	90,295	90,473
その他(純額)	35,058	40,890
有形固定資産合計	295,667	316,958
無形固定資産		
投資その他の資産	18,372	21,839
投資有価証券		
投資有価証券	66,266	69,121
その他	17,820	19,454
貸倒引当金	△5,163	△5,501
投資その他の資産合計	78,923	83,074
固定資産合計	392,963	421,872
資産合計	737,469	777,809
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	167,961	177,505
短期借入金	73,696	105,598
コマーシャル・ペーパー	5,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	42,472	6,679
未払法人税等	3,469	3,128
製品保証引当金	10,036	8,110
その他の引当金	1,794	3,577
その他	41,294	42,030
流動負債合計	345,724	351,629
固定負債		
長期借入金	79,472	117,146
退職給付引当金	42,520	41,331
その他の引当金	1,779	2,034
その他	36,322	37,950
固定負債合計	160,093	198,463
負債合計	505,818	550,092

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	72,717	72,717
資本剰余金	64,327	64,327
利益剰余金	71,561	65,983
自己株式	△1,655	△1,149
株主資本合計	206,951	201,879
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,467	14,227
繰延ヘッジ損益	40	△149
土地再評価差額金	1,561	1,561
為替換算調整勘定	△13,062	△9,100
評価・換算差額等合計	2,007	6,539
新株予約権	252	154
少数株主持分	22,439	19,144
純資産合計	231,650	227,717
負債純資産合計	737,469	777,809

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	666,133	918,545
売上原価	593,698	796,501
売上総利益	72,435	122,043
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	26,655	25,841
賞与引当金繰入額	905	916
退職給付引当金繰入額	1,936	2,213
その他	61,729	69,709
販売費及び一般管理費合計	91,227	98,680
営業利益又は営業損失(△)	△18,792	23,363
営業外収益		
受取利息	978	917
受取配当金	752	1,055
為替差益	1,278	—
雑収入	1,456	1,386
営業外収益合計	4,465	3,359
営業外費用		
支払利息	3,327	2,948
為替差損	—	3,509
持分法による投資損失	3,761	80
雑支出	1,277	996
営業外費用合計	8,367	7,535
経常利益又は経常損失(△)	△22,694	19,186
特別利益		
固定資産売却益	129	60
投資有価証券売却益	103	—
貸倒引当金戻入額	—	207
その他	124	520
特別利益合計	357	788
特別損失		
固定資産除売却損	1,375	469
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,090
その他	556	253
特別損失合計	1,931	1,814
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24,268	18,160
法人税、住民税及び事業税	2,539	7,146
法人税等調整額	475	△214
法人税等合計	3,014	6,931
少数株主損益調整前四半期純利益	—	11,228
少数株主利益	1,621	3,298
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28,904	7,930

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	対前年同四半期比
トラック・バス	54,179台	82,727台	28,548台
受託車両	74,956台	122,578台	47,622台

(2) 売上実績

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		対前年同四半期比	
	台数 台	金額 百万円	台数 台	金額 百万円	台数 台	金額 百万円
国内	17,523	135,888	20,161	154,963	2,638	19,075
海外	38,687	142,501	58,824	220,177	20,137	77,675
海外生産用部品	—	1,077	—	1,392	—	315
トラック・バス計	56,210	279,467	78,985	376,534	22,775	97,066
車両	74,956	147,435	122,578	270,728	47,622	123,292
海外生産用部品ほか	—	3,369	—	2,115	—	△1,254
受託車計	74,956	150,805	122,578	272,843	47,622	122,038
国内	—	34,045	—	35,482	—	1,437
海外	—	15,488	—	19,466	—	3,977
補給部品計	—	49,533	—	54,948	—	5,415
国内	—	86,016	—	100,987	—	14,970
海外	—	23,954	—	21,236	—	△2,717
トヨタ	—	76,355	—	91,994	—	15,639
その他計	—	186,326	—	214,218	—	27,891
総売上高	—	666,133	—	918,545	—	252,411

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。